

森林整備 役割を確認

ボランティア 80人が交流会



森林整備の重要性を
訴える宮林さん

と題して講演。天災に
よる土砂災害などを見

越した森林整備の重要
性を訴えた。
NPO法人フォレス
トぐんま21、ぐんま森
林インストラクター

会、協和発酵キリンは
自然観察会などのイベ
ント開催や子ども向け
の環境教育、森林の間
伐や下刈りの取り組み
を説明した。

県内の森林ボランテ
ィアは現在、87団体、
約5千人。県と県緑化
推進委員会（八木原勇
治理事長）が、さらな
る活動の活性化を目指
し、交流会を開いた。

「日台の連帯
欠かせない」
県台湾総会新年会

台湾出身者でつくる
県台湾総会（ひょうき 頌彦真賢
会長）の新年会が24日、
伊勢崎市内の結婚式場
で開かれた。会員や台

踏みえ、約80人が講演
会などを通して、森林
ボランティアが果たす
役割などを学んだ。

東京農業大教授の宮
林茂幸さんは「流域連
携における森林づくり
と森林ボランティア」

森林ボランティア活
動について知ってもら
おうと、「森林ボラン
ティア交流会」が24日、
県庁で開かれた。過疎
化や林業者の高齢化で
手入れ不足の里山や平
地林が増加する現状を